

ちばコラボ大賞実施要綱

(目 的)

第1条 NPO（市民活動団体）、地縁団体、社会福祉協議会、学校・大学、企業、行政機関等とが連携して、それぞれの特性を活かしながら地域社会の課題解決に取り組むことで、福祉や環境、子育て、まちづくり等さまざまな分野で成果をあげている。

この要綱は、そのような連携事例の中から、他のモデルとなる優れた事例に取り組んでいる団体を表彰し、連携の重要性や効果を広く県民に周知することにより、連携による地域づくり及び持続可能な社会の実現に資する地域の課題解決に向けたパートナーシップの取組を促進することを目的として、千葉県表彰規則及び千葉県表彰事務取扱要綱に基づき必要な事項を定める。

(対象となる事例)

第2条 表彰の対象となる事例は、次に掲げる要件をすべて満たす事例とする。

(1) 次のア及びイに掲げるいずれかの事例であること。

ア NPO、地縁団体、社会福祉協議会、学校・大学、企業、行政機関等の二団体以上の連携事例（連携団体に行政機関を含む場合は、三団体以上の連携事例）

イ NPO、地縁団体、社会福祉協議会、学校・大学、企業、行政機関等との二団体以上で構成される協議体による事例（構成団体に行政機関を含む場合は、三団体以上で構成される協議体による事例）

(2) 現在継続中又は事業終了後1年以内の事例であること。

(3) 県内で取り組まれている事例であること。

(4) 連携して事例に取り組んでいる団体（協議体による事例の場合は協議体の構成団体。以下「連携団体」という。）のうち、一つ以上の団体が県内に事務所を有すること。

(5) 行政機関からの委託により取り組まれている事例ではないこと。

(応募の方法)

第3条 事例の応募は、自薦又は他薦によるものとする。なお、応募に当たっては、すべての連携団体の了解を得た上で行うものとする。

(1) 自薦の場合

連携団体は、応募書並びに別記第1号様式、第2号様式及び別途定める事例紹介用調書に必要事項を記載の上、県に提出するものとする。

なお、応募は1団体1事例までとする。

(2) 他薦の場合

連携団体以外の団体（NPO、地縁団体、社会福祉協議会、学校・大学、企業、行政機関等）又は個人は、推薦書並びに別記第1号様式、第2号様式及び別途定める事例紹介用調書に必要事項を記載の上、県に提出するものとする。

(審査の方法)

第4条 前条の規定により応募があった事例については、県環境生活部県民生活課（以下「県民生活課」という。）による第1次審査及び第6条で定める審査会による第2次審査を行い、表彰事例を選考する。

(1) 第1次審査

- ア 県民生活課は、応募書類に基づき応募資格の有無等を確認する。
- イ 県民生活課は、次条で定める審査基準に基づく点数評価及び必要に応じて実施する現地調査・ヒアリングを踏まえ、第2次審査の対象を選考する。

(2) 第2次審査

審査会は、第2次審査の対象として選考された事例について、各連携団体又は、協議体によるプレゼンテーションを受けた上で、次条で定める審査基準に基づく点数評価を基本として総合的に評価し、表彰事例を選考する。

(審査基準)

第5条 審査基準は下表のとおりとする。

項目	内容
①目的	地域社会の現状と課題の把握、その解決に向けた事業の目的と内容が的確か。
②先駆性	取組に創意工夫が見られ、他のモデルとなりうる先駆的な要素を有しているか。
③連携度	役割分担が明確で、各連携団体の特性や能力（例：専門性、ネットワーク等）を活かした取組であるか。
④成果	連携して取り組むことにより、相乗効果のある成果が外部に生みだされているか。
⑤発展性 （重点項目）	県民参加の促進や他地域への波及など、事業に広がりが見られるか。また、各連携団体に組織としての成長が見られるか。
⑥市民目線	地域住民の目線で地域課題に着目し、自発的に実践されている取組であるか。
⑦特筆事項	事業全体を通して、特筆すべき優れた点（加点要素）があるか。

(審査会)

第6条 県は、専門性・公平性・透明性の観点から適正に審査するため、別に定めるところにより、外部の有識者（NPO関係者、学識経験者、企業関係者等）及び行政職員を含む6名以内の委員で構成する審査会を設置するものとする。

(表彰事例の決定)

第7条 知事は、審査会による第2次審査の結果に基づき、「ちばコラボ大賞（千葉県知事賞）」を決定する。
表彰事例は3事例以内とする。

(表彰の方法)

第8条 表彰は、知事が賞状を授与して行う。（ただし、行政機関を除く。）

(広報)

第9条 県は、表彰事例について、千葉県ホームページ等県が有する各種広報媒体や、県が作成するリーフレット等への掲載を行うことにより、広く県民に周知するものとする。

(所掌)

第10条 この要綱に関する事務は、県民生活課において所掌する。

(その他)

第11条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成22年4月19日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年6月19日から施行する。

附 則

この要綱は、平成26年4月24日から施行する。

附 則

この要綱は、平成29年5月24日から施行する。

附 則

この要綱は、令和3年5月6日から施行する。

附 則

この要綱は、令和4年4月1日から施行する。

ちばコラボ大賞 応募書

年 月 日

千葉県知事 様

(団体所在地)
(団体名)
(代表者職・氏名)

(連絡先) TEL/FAX
E-Mail
担当者氏名

ちばコラボ大賞について、下記の書類を添えて応募します。
なお、この応募は、すべての連携団体の合意により、当団体が代表して行います。

記

- ・別記第1号様式、第2号様式
- ・事例紹介用調書
- ・その他事例に関する参考資料

※A4サイズ5枚まで。両面印刷可とする。(最大10ページまで)

ちばコラボ大賞 推薦書

年 月 日

千葉県知事 様

(住所)

(氏名)

(連絡先) TEL/FAX

E-Mail

担当者氏名

*団体で推薦する場合は、住所欄に団体所在地、氏名欄に
団体名と代表者職・氏名をそれぞれ記載してください。

ちばコラボ大賞について、下記の書類を添えて推薦します。

なお、この推薦に当たっては、すべての連携団体の了解を得ております。

記

- ・別記第1号様式、第2号様式
- ・事例紹介用調書
- ・その他事例に関する参考資料

※A4サイズ5枚まで。両面印刷可とする。(最大10ページまで)

別記 第1号様式 連携団体調書

連携団体			
団体名		(ふりがな)	
団体の種類 該当するものを○で囲んでください。		NPO（市民活動団体）、地縁団体、社会福祉協議会、学校・大学、企業、 行政機関、その他（ ）	
所在地		(ふりがな)	
		〒	
代表者職・氏名		(ふりがな)	
担当者連絡先 (必ず連絡が取れると ころをお書きくださ い。)	ふりがな 職・氏名		
	住所	〒	
	電話	FAX	
	e-mail		
団体の活動目的・活動内容			
団体名		(ふりがな)	
団体の種類 該当するものを○で囲んでください。		NPO（市民活動団体）、地縁団体、社会福祉協議会、学校・大学、企業、 行政機関、その他（ ）	
所在地		(ふりがな)	
		〒	
代表者職・氏名		(ふりがな)	
担当者連絡先 (必ず連絡が取れると ころをお書きくださ い。)	ふりがな 職・氏名		
	住所	〒	
	電話	FAX	
	e-mail		
団体の活動目的・活動内容			

※連携している団体が3以上の場合、適宜枠を追加し、団体ごとに記載してください。

※協議体による事例の場合は記載してください。			
協議体名		(ふりがな)	
所在地		(ふりがな) 〒	
代表者職・氏名		(ふりがな)	
担当者連絡先 (日中連絡が取れるところをお書きください。)	ふりがな 職・氏名		
	住所	〒	
	電話		FAX
	e-mail		
団体の活動目的・活動内容			
協議体構成員			
			計 団体

※ここでのいう協議体とは、NPO、地縁団体、社会福祉協議会、学校・大学、企業等との二団体以上で構成される団体を指します。

別記 第2号様式 事例調書

事業の名称・テーマ	
事業の分野	<p>*以下の分野の中から、当事業が該当する分野の番号を○で囲んでください(2つまで)。</p> <p>1、保健・医療・福祉 2、社会教育 3、まちづくり 4、学術・文化・芸術・スポーツ 5、環境保全 6、災害救援、地域安全 7、人権・平和 8、国際協力 9、男女共同参画 10、子どもの健全育成 11、情報化の発展 12、科学技術振興 13、経済活性化 14、職業能力開発・雇用機会拡充 15、消費者保護 16、NPOの連絡・助言・支援 17、観光振興 18、農山漁村・中山間地域振興 19、その他 ()</p>
事業実施期間	<p>*事業を実施した期間について、該当する方に記入してください。</p> <p>(現在継続中の事業) 年 月 ~ 現在継続中 (終了後1年以内の事業) 年 月 ~ 年 月 終了</p>

現状と課題	<p>*当事業で取り組む地域社会の現状と課題について記載してください。</p>
活動の視点・動機	<p>*上記の現状と課題を把握できた経緯や把握するために行った工夫と、活動を始めた思いを記載してください。</p>
事業の目的	<p>*現状の課題を解決するため当事業を行う目的を、連携に至るまでの経緯を含めて記載してください。</p>
事業の概要	<p>*当事業の内容、計画、実施する地域及び時期、事業の対象となる人や事柄など詳細に記載してください。</p> <p>*協働(コラボ)するにあたって、特に創意工夫をこらした点について記載してください。</p>

<p>役割分担</p>	<p>*当事業における役割分担を、各連携団体ごとに、能力や特性をふまえて記載してください。</p>
<p>成果</p>	<p>*現時点での事業の成果を記載してください。</p> <p>*連携を通じて得られた効果や、組織としての成長が見られた点を、各連携団体ごとに記載してください。</p> <p>*事業の継続性や発展性をふまえた今後の事業展開について記載してください。</p>
<p>その他</p>	<p>*その他に記載したい事項があれば記載してください。</p>



事業名

～サブタイトル(任意)～



写真の説明(〇〇をしている様子、など)

■協働パートナーの種別

NPO	地縁	社協	学校・ 大学	企業	行政	その他
-----	----	----	-----------	----	----	-----

■事業運営団体

・事業運営団体名

■協働パートナー

・NPO 法人〇〇 ・◇◇学校

・△△市 ・◎◎社会福祉協議会

・株式会社■ ■ほか 計 団体

■事業費

〇〇万円

■資金調達手段

委託料・助成金・寄附・利用料等受益者負担・
運営団体負担・その他

事業概要

○ 協働までの経緯

○ 主な事業内容(年間スケジュール等)

①活動内容(時期・タイミング)

②活動内容(時期・タイミング)

③活動内容(時期・タイミング)

※上記の他、随時、～を行っています。(補足事項があれば)

● 主な協働パートナーとの役割分担

【NPO】○○○○○…

【地縁組織】■■■■■…

【行政】△△市△△課…

※区分は任意

● 協働事業によって生まれた成果

- ・連携団体にどのような成長がみられたか
- ・連携によりどのような相乗効果があったかなど

● 今後力を入れていきたいこと

○力を入れていきたいこと1

○力を入れていきたいこと2

♡ コラボのコツ!!

★コツ1

★コツ2

★コツ3

コツに関するコメント

写真

写真

協働事例プロフィール

【活動開始年】 年 月 【活動のPR手法】○○(URL)、■■■(アカウント名など)

【この事業で活用した補助金】 ○○市■■■補助金(任意記載)

【表彰歴・マスコミ掲載歴等】 ○○新聞(年 月)、■■■市△△表彰(年 月)(任意記載)

【問い合わせ先】 担当者：○○ 電話番号：0000-00-0000

メールアドレス： (任意記載)